

北陸新幹線



ENGINE プログラムに取り組むみなさまへ



担当理事・副学長
武山 良三

北陸新幹線の利用者数は、2015年の開業以降高水準を維持していましたが、2020年はコロナ禍で大幅に落ち込みました。しかし、外出自粛やリモートワークなどを強いられたこと、新たな生活様式への対応が求められたことなどから、移住定住を含めて地方への期待が高まっています。COVID-19の感染が落ち着いた時に向けて、将来的には大阪まで結ばれるという北陸新幹線の活用と地域の活性化とを相乗させた取り組みが求められています。これからの地域を支える人材を育てる「ENGINEプログラム」は、沿線三県にある信州大学、金沢大学、富山大学が連携して行う、まさに次代の地域づくりに向けた事業です。皆様のご理解・ご支援を得て、大きな成果に繋げていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

信州大学・金沢大学のENGINEプログラムの特徴



全学横断特別教育プログラムの5つのコースと連携し、地域の課題を魅力に捉えなおすデータサイエンスのための素養をはじめ、地域資源や魅力発見に向け、これまでの固定概念を打破する発想力、「ゼロ」から「イチ」を創り出すための創造力と実行力、自らの限界を伸ばしていく専門力、これらの力を他者との関係から修得するプログラムです。また、富山大学と金沢大学とも連携し、特定の地域にとらわれない思考や連携する力を身に付けていきます。



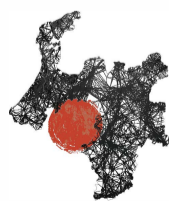
金沢大学が展開するENGINEプログラムは、地域の発展に取り組む自治体や企業とのつながりを深め、実践的な課題解決を学びながら、修得すべきリテラシーを磨き、働くことへの意欲を高め、失敗を恐れずにチャレンジする機会を得て、観光やまちづくりの視点から地域の持続的な発展に貢献できる人材を育成します。また、信州大学と富山大学とのネットワークを活用し、3大学が連携することによって実現する県域を超えた新しいつながりを重視します。



大学による地方創生人材教育プログラム構築事業

Centers of Community —
Project for Universities as Drivers of Regional Revitalization through New Human Resources Education Programs

地方創生に向けては、当該地域にある高等教育機関が核となって、その地域の経済圏における教育と職業、教育と新たな産業を結びつけていく活動が不可欠です。人生100年時代においては、高等教育機関には多様な年齢層の多様なニーズを持った学生を教育できる体制が必要となるため、いわゆる就職氷河期世代も含めた様々な社会人に対しても受けやすく即効性のある出口一体型人材養成の確立が求められています。本事業は大学・地方公共団体・企業等の各種機関が協働し、地域が求める人材を養成するための指標と教育カリキュラムを構築し、指標に基づき、出口(就職先)が一体となった教育プログラムを実施いたします。



表紙のデザインについて

混沌とした時代の中で、刻々と変化する人・モノ・情報そしてその繋がりを点と線のダイナミックな関係性として抽象的に表現しています。その動きに対し、

データサイエンスの力などを活用し、新しいミカタ/捉え方をすることにより未来につながる地域社会価値を創出する、そのために必要な次代を担う人材を育成するというENGINEプログラムが目指す未来について、3県の輪郭とその中の存在する点と線をもって表現しています。

問合せ先

- 履修に関すること | 学務部学務課
Tel: 076-445-6078
E-mail: g-kikaku@adm.u-toyama.ac.jp
- インターシップに関すること | 学務部就職支援課
Tel: 076-445-6086
E-mail: employ@u-toyama.ac.jp
- 事務局 | 研究振興部社会貢献課
Tel: 076-445-6519
E-mail: chiiki@adm.u-toyama.ac.jp

<https://enpg.u-toyama.ac.jp>



ENGINE PRGM



文部科学省『大学による地方創生人材育成教育プログラム構築事業』 地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」

富山大学が展開するENGINEプログラムは、既存の「地域課題解決型人材育成プログラム」と「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を融合・発展させ、出口(就職先)が一体となった教育プログラムを実施いたします。最大の特徴は、3年次に地域企業での課題解決型インターンシップを体験することです。地域が求める人材のための素養を身に付け、地域企業で働く意義など、自身のキャリア形成に取り組んでいきます。信州大学と金沢大学とのネットワークを活用し、特定の地域にとらわれない柔軟な思考力と奇抜な発想力を涵養します。

ENGINE教育プログラム

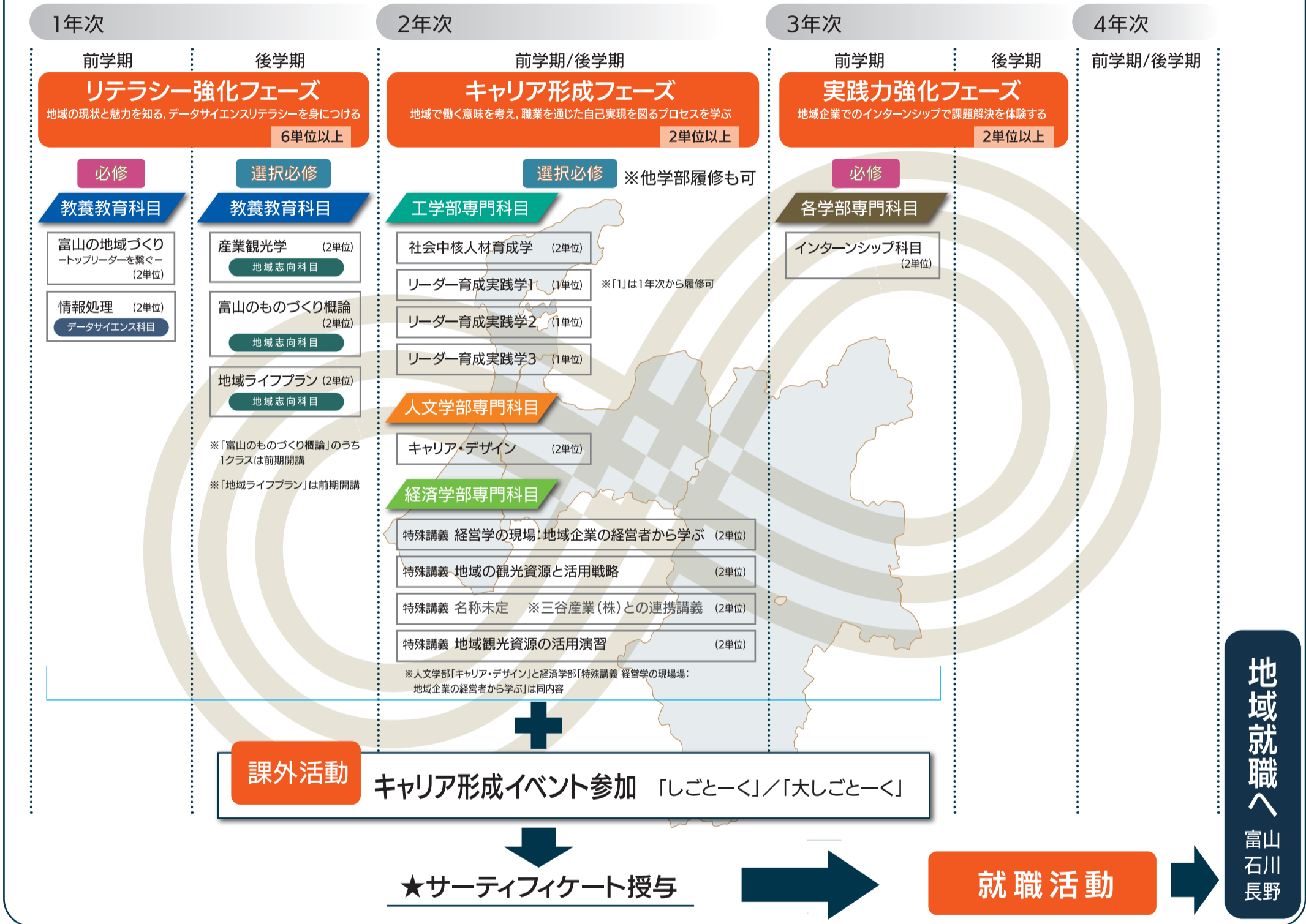
信州大学

富山大学

金沢大学

※「必修」「選択必修」とは、本プログラム修了に係るものです。所属学部の卒業要件とは異なりますので注意して下さい。

全ての学部の学生が参加可能!



教育プログラムの特徴

富山大学における「ENGINE」教育プログラムは、モビリティ・エンゲージド産業(交通・観光・食・インフラ活用)分野における地域の持続的な発展に貢献できる人材を養成するものです。

本プログラムの最大の特徴は、3年次に地域企業での課題解決型インターンシップを体験することです。

そのために「リテラシー強化フェーズ」(1年次)では、データサイエンス科目及び地域の現状と魅力を知る科目(地域志向科目)を履修し地域で必要とされる基礎的なリテラシーを身につけます。

「キャリア形成フェーズ」(2年次)では、地域企業と連携した授業により、地域で働く意味について考え、職業を通じた自己実現を図るプロセスを学びます。「実践力強化フェーズ」(3年次)では、身に付けた知識等を基に地域の現場で実際の仕事を体験し、その後の就職活動につなげます。

単位修得等規程の要件を満たした学生にはプログラム修了証が授与されます。

学生に期待すること

このプログラムは、地域が求める人材像として次の3つの能力を養成するためのカリキュラムになっています。

- ①データ・オリエンテッド&ハート・ドリブン型地域マネジメント力
- ②時代の変化をしなやかに捉え社会に関わり続ける力
- ③未来社会を見据えた創造性溢れる突破力

データサイエンス科目、地域志向科目、キャリア形成、インターンシップなどステップアップ的に受講できるように設計してあります。

学生の皆さんが、このプログラムを受講し、就職活動を始める3年後には地域が求める人材のための素養を身に付け、地域企業で働く意義など、自身のキャリア形成が見についていることでしょう。将来、地元地域で活躍したい、と思っている学生の参加を期待しています。

企業課題解決型 インターンシップ 協働予定企業

- 株式会社 北日本新聞社
- 三協立山株式会社
- 立山科学グループ
- 日本海ガス株式会社
- 株式会社 北陸銀行
- YKKグループ
- 他